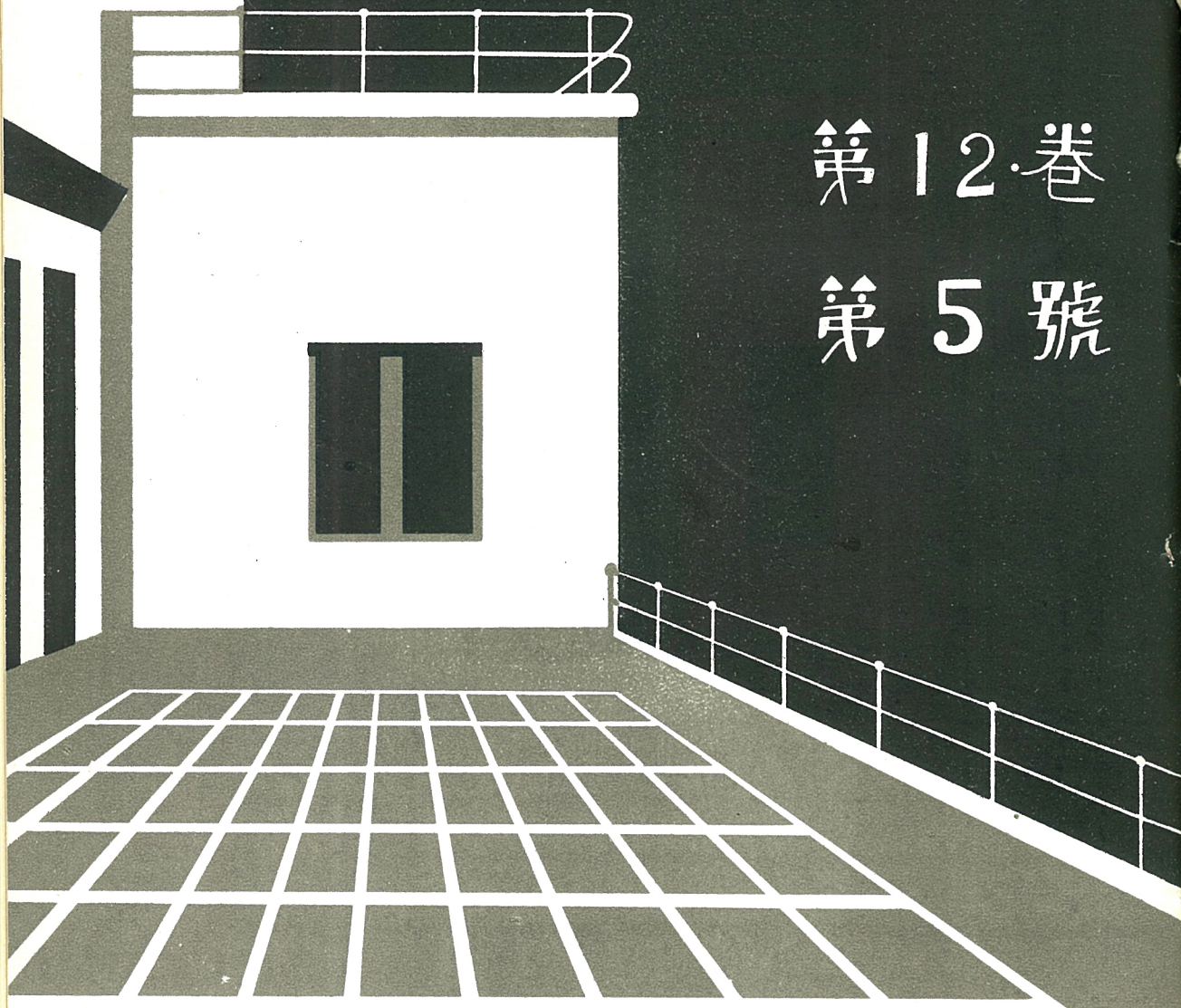


滿洲建築協會雜誌

建築協會
7.8.4
交付

第12卷
第5號



法人團體
滿洲建築協會

ホロータイル

フェイスブリック

礦滓カッタ

舗道煉瓦

スクラッチタイル

カッタタイル

機械製煉瓦

普通煉瓦

專賣特許
鐵筋煉瓦

營口煉瓦製造所

大連工場

大連市管内西山會三春柳一
電話九〇九七番

周水工場

大連市管内周水屯周家屯

大連出張所

大連市越後町二八
電話三九〇五番

馬車配給所

大連市財神街三
電話七七五八番

滿 洲 建 築 協 會 雜 誌

目 次

本 文

- 構造強度審査所感……………小園貞助…(1)
- 平床版の計算法……………田中禾…(5)
- 矩形架構の一解法(補遺)……………草野美男…(15)
- 第二回工學會大會に出席して……………卜藏淳良…(22)
- 古建築物保存に就いての私見……………伊藤清造…(26)
- 熊岳城農業實習所牛舎、サイロ新築工事概要……………(29)
- 出版工場……………宍道七郎…(30)
- 大連市建築統計に就いて……………田中國益…(35)

會 報

新入會員 會員移動 理事選舉に關する評議員會 昭和七年度理事決定 會長、副會長決定 編輯部會議
總務部會議 編輯部會議 寄贈圖書 交換圖書

特 別 會 報

滿洲國首都建設に關する都市計畫並建築計畫に對する意見募集

朝鮮貯蓄銀行本店新築意匠設計圖案懸賞募集規程

編輯後記……………(目次裏)

編輯後記

□巻頭圖版として大連汽船を紹介する豫定で完成を待つて居たが、内部の裝飾が未完成でとう／＼本號には間に合はぬことになつたから代りの資料を物色して見たが、此の上發行を遅延させることが出来ぬので次號に於て埋め合せをつけることにして御勘辨を願ふことにしました。

□ボツ／＼新しい顔振が見え出したことは一分誌面に活氣を添へて喜ばしいことです。併し新しい寄稿者が出て來たとて古顔を疎んずる程鳥頂天になるには編輯子は餘りに苦しい經驗を持つてゐる。

□從來大いに必要を感じつゝも、統計的の資料を手に入れることは殆んど望み難いことゝして斷念的に經過して來たが、此度田中國益さんによつて、大連市の建築統計の一方面が明かにされたのは何かの御參考になることゝ思ふ。統計はその物よりも其の統計の教へて呉れる——暗示して呉れる幾多の問題が興味を深くするのである。

今後共同氏のやうな立場に在る方々或は一般の特志的な御研究による統計的資料の御提供を切望する。

□小園さんの構造強度審査所感は一般技術者へのよき參考であり教訓であることを疑はない。之等の點から考へて草野さんや田中禾さんの記事が一般の方々には餘りに専門的で見える氣にもなれぬ類のものかも知れませんが、是れが判らなければ畢竟あつた無理が出来て來るのですから、用のない方には用のある人々の爲めに此の雜誌の立場に對して御了解を願ふ次第である。

□「建築協會は今時何をしてゐるか」といつた口吻が、伊藤さんの「古建築物保存私見」の中に現はれてゐる。是れに就いては建築協會も先刻考慮を拂つてゐます。精々新興滿洲に對して其の使命を裏切らぬ様、幹部に於ても努力してゐる。何れ特別の御盡力を願ふ機會が遠からずあることゝ信ずる。

□多年病苦と戰つて絶へず「滿蒙誌上」や本誌上に其の健筆を振はるゝ同氏の上に祝福豊かならんことを心より祈るものである。

□六月號は、本號特別會報に於て發表せられた通り「滿洲國首都建設に關する都市計畫並建築計畫に就いての意見」を募集して特輯編纂をする心算。宜しく旺んに其の抱負を開陳されんことを冀望する。

□新緑爽快、陽光煦々、乾坤方に活氣旺盛す。知らず滿洲の工界果して所期の好況到來しつゝありや。

昭和七年五月二十日

ISHIDA 生

昭和七年五月十八日

社團法人滿洲建築協會

殿

拜啓

新緑の候益々御清穆の段賀上奉ります

帝國の威力により滿洲事變の快明なる解決と滿洲國の手際よき創建を見たるは極東平和確保の爲誠に慶賀に堪えざる處であつて、吾等は今や新國家の將來に對し衷心より其の健全なる發展を祈つて止まざるものであります。偕て當協會に於きましては其の使命の上から考へまして何等か其の立場から新國家に對し貢獻する所あり度きものと考へる次第であります。過般來屢々問題になりましたのは、新國都建設に關する都市計畫並に建築計畫に就き凡そ此の種の問題に就いて興味と關心ごを持たるゝ人士に對し、其の抱負意見を尋ね、是れを當協會雜誌の特輯若しくは單行パンフレットとして發行し、各自の意見交換と今後の研究に資し同時に之れを新國家要路の參考に供せんごすることでありました。然るに此の企ては種々なる點に於て極めて有意義な企てであるごを確信しまするので、爰に取りあへず左記により此の企てを實行することになりました。就きましては何卒趣旨のあるごころを宜敷御推知下さいまして盛んに御寄稿下されんごを切望してやまざるものであります。